

**首都高速道路株式会社
第10期（平成27年3月期）
決算説明会**

平成27年6月11日

平成26年度の事業概況

▶ 中央環状線（湾岸線～3号渋谷線間9.4km）が開通

- ・ 今回の開通により、中央環状線は「首都圏3環状道路」で最初の全線開通
- ・ 都心に集中する交通の分散が図られ、都心環状線を中心とした慢性的な渋滞が緩和
- ・ アクセス性が向上するとともに定時性も向上し、効果は経済活動にも波及

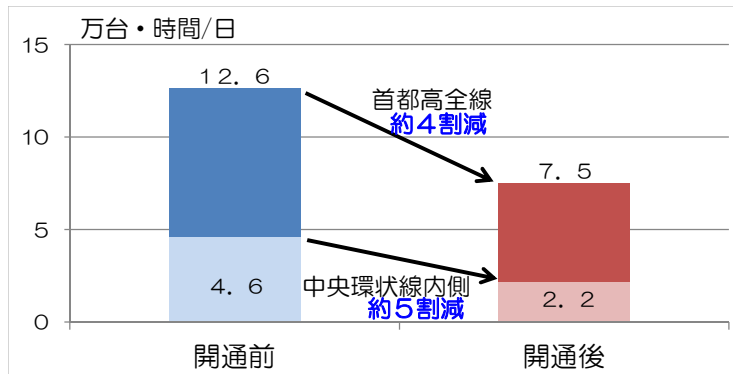
▶ 特定更新等工事（大規模更新・大規模修繕）の推進

- ・ 平成26年11月17日付で独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構との協定を変更締結し、平成26年11月20日付で国土交通大臣から事業許可取得
- ・ 1号羽田線（東品川棧橋・鮫洲埋立部）については、平成26年6月に都市計画変更素案説明会を開催し、12月18日に都市計画決定、平成27年2月18日に都市計画事業認可を取得、また、1月27日付で工事契約手続の開始を公示
- ・ 大規模修繕は、主要街路上の道路調整状況等を踏まえ平成26年度から順次着手

【参考1】中央環状線(湾岸線～3号渋谷線間)開通後1ヶ月の交通状況

- ▶ 都心環状線の交通量は約5%の減少ながら、
渋滞損失時間は中央環状線内側で約5割減少、首都高速全線においても約4割減少
- ▶ 特に都心環状線浜崎橋JCTでは1日平均9時間発生していた渋滞がほぼ解消
- ▶ 新宿から羽田空港までの混雑時(平日11時台)における所要時間が半減(約21分短縮)

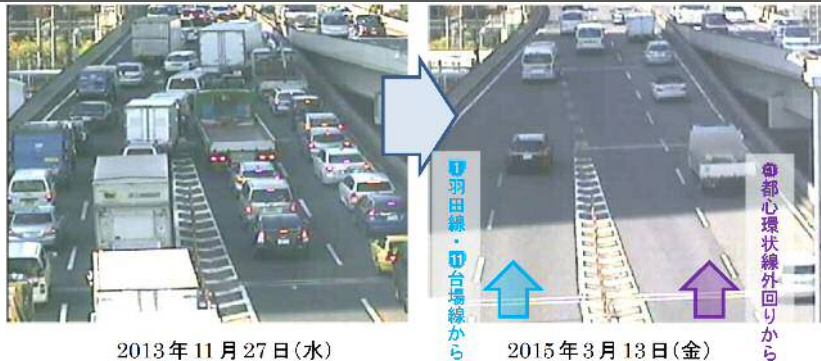
渋滞損失時間の変化



<使用データ> 車面感知器による平日平均データ

開通前: 平成26年3月10日(月)～平成26年4月7日(月) 注) 中央環状線内側: 中央環状線及び湾岸線を含まない
開通後: 平成27年3月10日(火)～平成27年4月7日(火)

浜崎橋JCT付近の渋滞状況の変化(混雑時11時台)



新宿(西新宿JCT)から羽田空港(空港中央)までの所要時間(11時台)



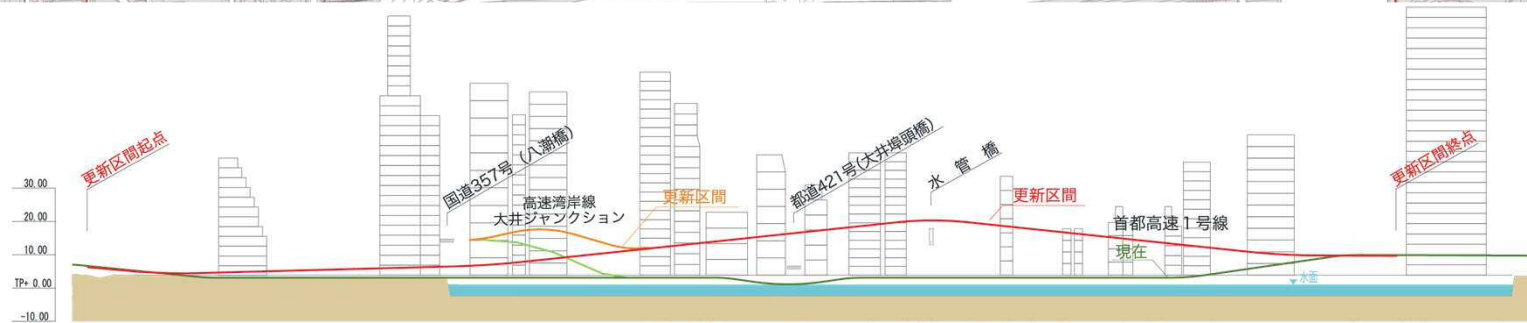
【参考2】 1号羽田線東品川棧橋・鮫洲埋立部の更新概要

- 海水面から一定程度離れた高架構造とするため、棧橋全体を架け替え
- 工事中の交通影響を軽減させるため、高速道路の迂回路を設置
- 平成27年度内の工事着手予定

平面図



縦断面図

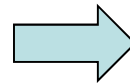


※ 縦断面図は縦横比を3:1に変えており、高さは東京湾の平均的な海面高さ (TP+0.0m) を基準として表示しています。なお、建物及び建物高さはイメージです。

現在



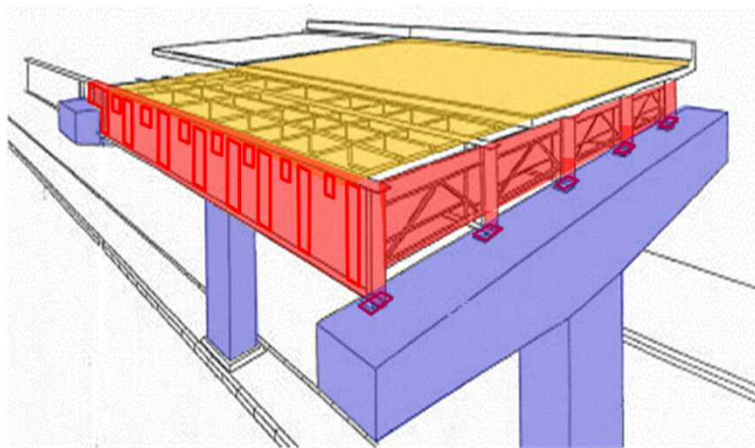
更新後



【参考3】大規模修繕の工事概要

➤ 道路の高齢化に対して長期の安全・安心を確保するため、大規模修繕を実施

＜大規模修繕の実施内容＞



橋梁単位で全体的に補修を行うことにより、新たな損傷の発生・進行を抑制しつつ長期の耐久性を向上

桁補強

鋼桁



疲労補強

コンクリート桁



被覆補強

橋脚補強

鋼橋脚



隅角部補強

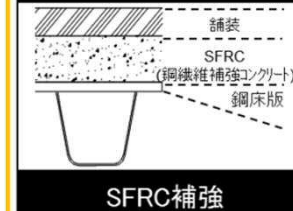
コンクリート橋脚



被覆補強

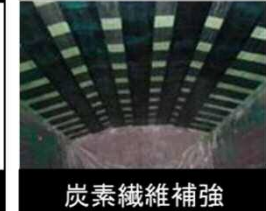
床版補強

鋼床版



SFRC補強

コンクリート床版



炭素繊維補強

連結経営成績

▶ 当期純利益 1.8 億円計上（対前期比 2.2 億円増）

（単位：億円）

	H27/3期	H26/3期	増減
営業収益	5,533	3,162	+ 2,370
営業費用	5,500	3,156	+ 2,343
営業利益	32	5	+ 27
経常利益	35	8	+ 26
特別利益	2	-	+ 2
特別損失	3	3	+ 0
税引前利益	33	4	+ 28
法人税等	15	9	+ 6
当期純利益	18	△4	+ 22

高速道路事業の損益状況（連結）

- 料金収入は2,508億円（対前期比35億円の減収）
- 当期に完成した道路資産の機構への引渡し2,731億円

（単位：億円）

	H27/3期	H26/3期	増減
営業収益	5,241	2,785	+ 2,455
料金収入	2,508	2,544	△ 35
道路資産完成高	2,731	240	+ 2,491
その他	0	1	△ 0
営業費用	5,218	2,793	+ 2,424
内：道路資産賃借料	1,888	1,936	△ 48
営業利益	23	△ 7	+ 31

関連事業の損益状況（連結）

▶ 営業利益 9 億円計上（対前期比 3 億円減）

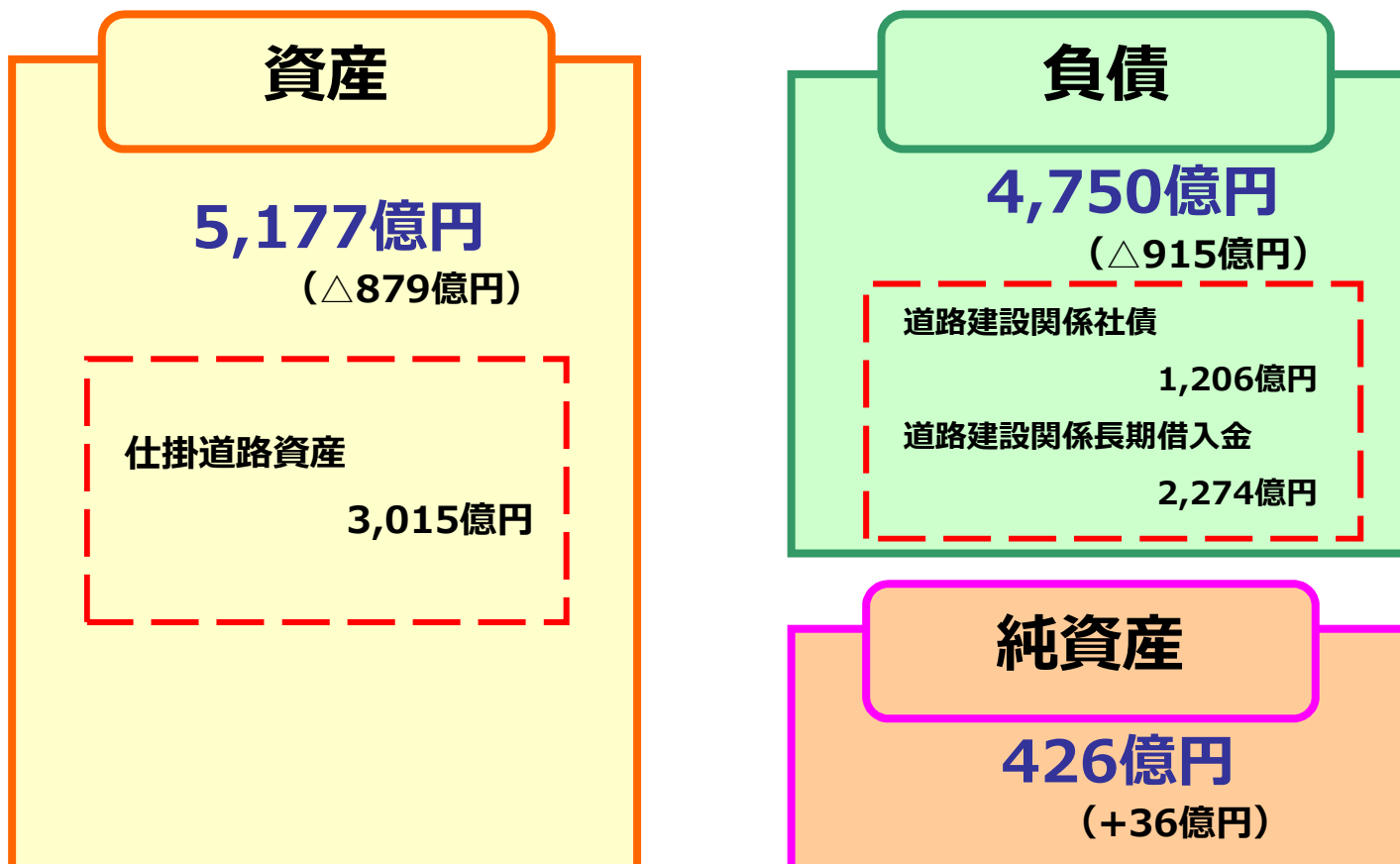
（単位：億円）

	H27/3期	H26/3期	増減
営業収益	296	381	△ 84
駐車場事業	28	28	+ 0
受託事業	246	331	△ 85
その他の事業	21	21	△ 0
営業費用	286	367	△ 81
内：受託事業	245	326	△ 81
営業利益	9	13	△ 3

※その他の事業として、休憩施設及び高架下賃貸等の運営及び管理等を行っています。

連結財政状態

- 総資産残高は、前期末に比べて879億円減少し、5,177億円。
- 主な増減要因は、仕掛道路資産について、建設中路線の進捗等による増加1,606億円及び機構への引渡しによる減少2,731億円など。



単体決算の概要

(単位：億円)

	H27/3期	H26/3期	増減
営業収益	5,502	3,133	+ 2,369
高速道路事業	5,240	2,784	+ 2,456
関連事業	261	348	△ 86
営業費用	5,492	3,151	+ 2,340
高速道路事業	5,233	2,809	+ 2,423
関連事業	258	342	△ 83
営業利益	10	△ 18	+ 28
高速道路事業	7	△ 24	+ 32
関連事業	3	6	△ 3
経常利益	15	△ 13	+ 29
当期純利益	9	△ 16	+ 25

※ 平成27年3月末利益剰余金残高：65億円

平成28年3月期の連結業績見通し

(単位：億円)

	H28/3期 見通し	H27/3期 実績	増減
営業収益	3,433	5,533	△2,100
料金収入	2,538	2,508	+ 29
道路資産完成高	596	2,731	△2,135
その他	—	0	△ 0
関連事業	299	296	+ 2
営業費用	3,422	5,500	△2,078
営業利益	11	32	△ 21
経常利益	9	35	△ 26
当期純利益	5	18	△ 13

※見通しについては、様々な要因により変化するものであり、将来の業績等を保証するものではありません。

首都高グループの概要

平成27年3月末時点 連結子会社15社

高速道路事業

～道路事業子会社～

【料金収受】3社

首都高トールサービス西東京(株)

首都高トールサービス東東京(株)

首都高トールサービス神奈川(株)

【交通管理】2社

首都高パトロール(株)、首都高カー・サポート(株) (首都高パトロール(株)の100%出資会社)

【維持修繕】7社

首都高技術(株)、首都高メンテナンス西東京(株)、

首都高メンテナンス東東京(株)、首都高メンテナンス神奈川(株)、

首都高電気メンテナンス(株)、首都高ETCメンテナンス(株)、

首都高機械メンテナンス(株)

～関連事業子会社～

【PA事業、駐車場事業等】1社

首都高速道路サービス(株)

【保険代理店事業等】1社

首都高保険サポート(株) (首都高速道路サービス(株)の100%出資会社)

【労働者派遣事業等】1社

首都高パートナーズ(株) (首都高速道路サービス(株)の100%出資会社)

駐車場事業

その他の事業

お問い合わせ先

首都高速道路株式会社 財務部 決算課 TEL 03-3539-9540 (直通)
〈URL〉 <http://www.shutoko.co.jp/>